

私の主張

日本主婦連合会会長
東瀬 幸枝

11月に発表した研究は、国家としてアメリカの本質的变化を、示していたのである。

◎ アメリカの本質とは何か？

本日、ここにきてかえりみると、戦後、日本の安全はアメリカが主として守ってきたのである。どう考えても極めて不思議な他国（旧敵国）依存であり、安全・保障・環境問題を日本国民は、そんなにも気にせず、空気のようになにがなしに受けてきたのである。

◎ 常に平和であることを望む

最近、我が国だけではなく、国際社会において「平和を愛する心や、公正さ、また信義に満ちて

◎ アメリカに逃げようとしている

しかし、アメリカに頼

りきりのように思える。

また「日本」の在り方から逃げようとしているようにも思えてくる。

また、プリンストン大学経済学教授らが、昨年

◎ 国防戦略を無視

しかしアメリカは、中国の尋常でない、軍備・拡張を感じ、それに対応するべく国防戦略を根本

防衛の根本的な見直し

的に見直しをしていく必要がある。また、その結果、日本

は核兵器を除く以外、国土防衛のほとんどすべてを、自分の力で行わねばならなくなっているようだ。

◎ これからの日本のあり方は？

従来の日本は、中国が第1線に進出するとき、いち早くアメリカの空母が来援し、中国戦となり

アメリカは、第1の列島線の戦いに「日本・台湾・フィリピン」として日本以外の2ヶ国はもとより、日本に「長期戦」が耐えられるか、そんな力があるのか。

◎ 日本国民は如何なる時でも大きく一つになるのである

また、厳しい制限下にある自衛隊が、第1列島線を守り切ることなど、不可能である。悪夢が現実になるかも知れない。また警鐘を乱打し、国民に危機を伝えることが、政府の役目であろう。

我が日本の国は、神代の時代から太陽の上る如く国民一体となって頑張

って来たのである。

「年」老いても国守る「心」は輝かしい

